JAL･ANA乗務員の勤務について

JAL/ANA 2004.11.4

1. JAL機種別データ(2003年度)

機種	運航乗務員数	機数	国際線ﾌﾞﾛｯｸﾀｲﾑ(時間)	国内線ﾌﾞﾛｯｸﾀｲﾑ(時間)	合計ﾌﾞﾛｯｸﾀｲﾑ÷機数(1機当り年間ﾌﾞﾛｯｸﾀｲﾑ)
B747-400	820	42	153,000	22,000	4,200
B747	410	35	100,000	11,000	3,200
B767	450	32	33,000	49,000	2,600
B777	270	26	17,000	34,000	2,000
DC10	160	10	28,000	1,000	2,900
MD11	80	3	14,000	0	4,700
合計	2,190	148	345,000	117,000	3,100

注1：ブロックタイムとは航空機が出発空港の駐機場から出発し、到着空港の駐機場に到着するまでの時間。

2. 乗務時間の上限

		1ヶ月	3ヶ月	1年
JAL	運航	85	-	900
	客室	85	-	900
ANA	運航	90	250	960
	客室	90	-	960

(時間)

注2：就業規則による。

3. 成田空港発着北極地区通過路線の週当たり便数と往復ブロックタイム

JAL

行先	週便数	機種	ﾌﾞﾛｯｸﾀｲﾑ
ﾆｭｰﾖｰｸ	7	747-400	26:20
ｼｶｺﾞ	7	747-400	24:25
ﾛﾝﾄﾞﾝ	7	747-400	24:10
ﾊﾟﾘ	7	747-400	24:15
ﾌﾗﾝｸﾌﾙﾄ	7	747-400	23:15
ｱﾑｽﾃﾙﾀﾞﾑ	7	747-400	23:15
ﾛｰﾏ	4	747-400	24:10
ﾐﾗﾉ	2	747-400	24:45
ﾓｽｸﾜ	1	747-400	18:55

(時間:分)

ANA

行先	週便数	機種	ﾌﾞﾛｯｸﾀｲﾑ
ﾆｭｰﾖｰｸ	7	747-400	26:05
ﾜｼﾝﾄﾝ	7	777	26:30
ﾛﾝﾄﾞﾝ	7	747-400	23:50
ﾊﾟﾘ	7	747-400	23:45
ﾌﾗﾝｸﾌﾙﾄ	7	747-400	23:05

(時間:分)

注3：2004年夏期時刻表による。

4. 長距離国際線を乗務する場合の平均的な乗務パターン(月間)

JAL	運航	北米･欧州路線を1.5～2往復程度乗務し、近距離国際線を1往復程度。国内線乗務を2日程度乗務し、スタンドバイ(乗務のための待機)が2日程度。
	客室	北米･欧州路線を1往復程度、アジア/ホノルル路線を1往復程度、中国路線を1往復程度乗務。国内線を3日程度乗務し、スタンドバイが2日程度。
ANA	運航	北米･欧州路線を1～1.5往復程度乗務し、近距離国際線を0.5～1往復程度。国内線の乗務を5日程度乗務し、スタンドバイ等が2日程度。
	客室	北米･欧州路線を2～2.5往復程度、アジア路線を1往復程度、中国路線を2往復程度乗務。国内線を1日程度乗務し、スタンドバイが2日程度。

5. 客室乗務員の平均勤続年数(2004年10月現在)

JAL	約13年
ANA	約10年

6. 妊娠確認後の勤務取扱い

妊娠確認日から事由消滅後会社が乗務復帰可能と認めるまでの間、乗務資格は一時停止する。妊娠確認にあたっては、
会社へ速やかに医師の診断書を提出することを要す。また、乗務復帰に際しては、産業医の乗務可能を証する意見書の提出を要する。

以上

【添付資料】JAL乗務員の方面別乗務実績概観

【添付資料】

JAL乗務員の方面別乗務実績概観

JAL 2004.11.4

注1：本資料は747-400の一般機長のうち長距離を乗務する者と一般客室乗務員の路線別乗務傾向を概観するものである。集計期間は2003年9月～2004年8月。
注2：機長のサンプルはそれぞれの路線に多数回乗務している一般機長(職制あるいは教官等の役職に就いていない機長)の中から無作為に抽出した。客室乗務員は米州または欧州路線に乗務している者の中から無作為に抽出した。
注3：「乗務時間」は、「乗務回数」に方面別に概括的に求めた「ブロックタイム(概数)」を掛け合わせたものである。乗務時間表中の「他」にある数値は年間乗務時間からA/B/C/Dにある乗務時間数を引いた値である。
注4：747-400運航乗務員は路線方面別に所属組織(室)を分けている。但し適宜、同機種内で室間を異動し、あるいは他機種へ異動する。
注5：航空機は離陸後高高度に至るまで、また高高度から降下し着陸まで、それぞれ30分程度かかる。

A：ニューヨーク、シカゴ
B：ロンドン、パリ、フランクフルト、アムステルダム、ローマ、ミラノ、モスクワ
C：シドニー
D：シンガポール

① JAL/747-400機長方面別年間乗務実績(成田空港発着往復)

	氏名	年間乗務時間	乗務回数(往復)				乗務時間(往復)				
			A	B	C	D	A	B	C	D	他
米州路線多数回乗務	1	690	10	0	2	0	250	0	38	0	402
	2	720	12	2	0	0	300	48	0	0	372
	3	730	12	3	0	0	300	72	0	0	358
	4	740	19	0	0	0	475	0	0	0	265
欧州路線多数回乗務	5	710	1	19	0	0	25	456	0	0	229
	6	660	3	21	0	0	75	504	0	0	81
	7	670	0	23	4	1	0	552	76	13	29
	8	710	0	29	0	0	0	696	0	0	14
シドニー多数回乗務	9	740	5	11	3	0	125	264	57	0	294
	10	710	6	3	3	0	150	72	57	0	431
	11	690	0	17	2	0	0	408	38	0	244
	12	730	5	9	2	0	125	216	38	0	351
シンガポール多数回乗務	13	720	0	12	2	1	0	288	38	13	381
	14	640	2	16	0	2	50	384	0	26	180
	15	710	5	6	0	1	125	144	0	13	428
	16	620	6	0	4	1	150	0	76	13	381
						ブロックタイム(概数)	25	24	19	13	

② JAL/客室乗務員年間乗務実績(成田空港発着往復)

氏名	年間乗務時間	乗務回数(往復)				乗務時間(往復)				
		A	B	C	D	A	B	C	D	他
17	790	4	6	0	0	100	144	0	0	546
18	850	5	6	0	0	125	144	0	0	581
19	840	8	5	0	0	200	120	0	0	520
20	640	2	2	0	0	50	48	0	0	542
21	780	4	5	0	0	100	120	0	0	560
22	730	3	5	0	0	75	120	0	0	535
23	680	2	2	0	0	50	48	0	0	582
24	840	6	8	0	1	150	192	0	13	485
25	720	2	5	0	2	50	120	0	26	524
26	820	2	9	0	5	50	216	0	65	489
27	650	2	4	0	1	50	96	0	13	491
28	670	3	11	0	4	75	264	0	52	279
29	840	1	10	0	2	25	240	0	26	549
30	740	0	6	0	3	0	144	0	39	557
31	840	3	10	0	4	75	240	0	52	473
32	840	3	9	1	6	75	216	19	78	452
					ブロックタイム(概数)	25	24	19	13	